

みたか「2020」ニュース

MITAKA "2020" NEWS

最終号!

12 Dec.

2021 (令和3) 年
12月号 No.11



発行元: 三鷹市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部事務局

contents

1面・大会が生んだ笑顔と感動(三鷹の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 ラグビーワールドカップ2019を振り返って)
2面・ありがとう東京2020大会・東京2020大会、ラグビーワールドカップを経て、レガシーとして受け継いでいくもの

車いすバスケットボールカナダ代表選手事前キャンプ
三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP (2018年6月)



パラリンピアンによる水泳教室 (2018年9月)



オンラインでのチリ料理教室 (2021年2月)

チリパラ卓球選手団事前キャンプ (2021年8月)



大会が 生んだ笑顔と感動

三鷹の
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
ラグビーワールドカップ2019を振り返って

東京2020大会も閉幕し
「みたか「2020」ニュース」も最終号を迎えます。
新型コロナウイルスの影響もありましたが、
スポーツを通じてたくさんの市民の皆さんの
笑顔と感動が生まれました。

東京2020オリンピック競技大会自転車ロードレース (2021年7月)



チリパラアーチェリー選手団事前キャンプ (2021年8月)



東京2020パラリンピック聖火リレー点火セレモニー (2021年8月)



東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー (2021年7月)



トライアスロン高橋侑子選手表敬訪問
(2021年9月)



ラグビーワールドカップ2019 パブリックビューイング (2019年9月)



府中 調布 三鷹ラグビーフェスティバル (2016~2021年)



MITAKA "2020" NEWS

ありがとう 東京2020大会



東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議 座長 吉田 武さん

新型コロナウイルスの発生蔓延で開催が心配された東京2020五輪パラリンピックは、いろいろな制限がありましたが、有意義に開催されたと思っています。三鷹市がホストタウンを務めたチリ共和国との交流促進など楽しみな目標もできました。しっかり育ててほしいものです。そしてコロナ禍という異常事態の中での体験をしっかり検証して次世代に残すことが最も大切なことだと思います。



東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議 副座長 森屋 賢さん

コロナ禍の中行われた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、私は地域連携会議副座長と聖火ランナーとして関わる事が出来ました。今回経験した事や想いを伝えて行く事が私の出来るレガシーだと思います。次世代に良い形で繋いで行けるよう頑張ります。最後に、これまで一緒に活動していただいた皆様本当にありがとうございました。



東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議 副座長 岡田 真由美さん

東京2020大会で、パラリンピックを、多くの方がテレビ画面ではありますが、選手を応援し、感動し、パラスポーツを通じて共生社会を感じ得たと思います。また、ボランティアの活動も称賛されました。無観客になり、観客をサポートすることは出来ませんでしたが、国内外の選手や大会関係者等を、日本人らしい「おもてなし精神」で、共助するというレガシーを培った大会であったと思います。



にしみたか学園 三鷹市立第二中学校 校長 青木 睦さん



同校 合唱部顧問 上野 史織さん

令和3年1月28日(金)本校合唱部の生徒がチリ国歌斉唱を行いました。チリ共和国大使からは「とても素晴らしい歌声であった。」とお褒めの言葉をいただきました。私も聞いていて感動のある素晴らしい歌声で、改めて歌を歌うことの素晴らしさを感じたところです。日ごろから生徒たちには「歌は人と人との心をつなぎ人々をまとめるもの。国歌が国民をまとめるものであるように、校歌が生徒や職員全体をまとめるもの」と話をしているところです。これからも外国の伝統や文化の理解をさらに進めていきたいと考えています。



国際基督教大学 教養学部保健体育課 客員准教授 高橋 伸さん

事前合宿で本学にいらしたチリ、アーチェリー選手のマリアナさんは、車いすに乗り19歳という若さですが落ち着いた雰囲気的女性でした。練習も準備からいつも通りといった手順ではじめ、黙々と的を狙っていました。彼女が銀メダルを取れたのは大きな喜びです。今後、三鷹でも日常でこうした光景が見られることを期待します。



チリパラリンピック選手団 事前キャンプ スペイン語通訳者 横川 信子さん

チリ選手・スタッフの明るさ、制限がある中でもオンとオフを切り替えて楽しく練習する姿が印象的でした。「チリとの交流」「パラスポーツの魅力」は、三鷹のレガシーとして残していきたいことです。



同スペイン語通訳者 斉藤 江美さん

車いすアーチェリー選手、マリアナちゃんがパラリンピック初参加で銀メダルを獲得できたのは、ずっと練習に付き添ったのでとても嬉しかったです。日々臨機応変な対応は大変でしたが、貴重な経験でした。

東京2020大会、ラグビーワールドカップを経て、レガシーとして受け継いでいくもの

〈東京2020大会を契機にさまざまな事業に取り組んできました。大会後もレガシーとして、三鷹市のスポーツ推進に生かしていきます。〉

◆チリ共和国とのホストタウン事業

東京2020大会は閉幕しましたが、三鷹市はこれからもずっとチリのホストタウンです。国立天文台を通じたアルマ望遠鏡の紹介、国際交流フェスティバルにおけるチリブースの出展支援など、チリ文化の紹介と交流を進めます。



◆三鷹市ゆかりのアスリート応援、トップアスリートによる教室事業

トライアスロン女子の高橋侑子選手、パラローイングの有安諒平選手など三鷹市ゆかりのアスリートを引き続き応援していきます。また、多治見麻子さん、狩野舞子さんなどオリンピックによる教室事業などを実施していきます。

◆三鷹市のスポーツボランティア「みたかスポーツサポーターズ」

東京2020大会等でのボランティア経験を生かし、市の主催事業であるスポーツフェスティバルや市民駅伝大会、体育協会主催の事業等で三鷹市のスポーツを盛り上げるために、さらに多くの仲間を募集しています。ご加入をお待ちしています！

お申込みはこちら▶



◆パラスポーツの普及、障がい者理解の推進

地域で盛んになってきているポッチャをはじめ、チリの選手団が事前キャンプを行ったパラ卓球、パラアーチェリーのほか、人気の車いすバスケットボールなど、パラスポーツに触れる機会を作っていきます。



◆三鷹体操、みたかダンス

1989年三鷹村開村100周年を記念して作られた「三鷹体操」をリニューアルするとともに、NHK「おかあさんといっしょ」でおなじみのひろみちお兄さんに「みたかダンス」を作ってもらいました。みんなで一緒に楽しく体を動かそう！



◀動画はこちら



◆ラグビー関連事業

三鷹市は、令和3年5月に府中市、調布市、東芝プレイブルーバス、サントリーサンゴリアスと5者協定を締結しました。子どもたちのラグビー体験やラグビー新リーグ「リーグワン」を通じて、ラグビーの魅力を市民の皆さんに伝えていきます。



タッタカくん! スポーツニュースを配信中

市内外のスポーツニュースを、三鷹市スポーツイベント応援キャラクター「タッタカくん」がTwitterから元気につぶやきます!(ユーザー名:tattaka_mitaka 右の二次元コードから登録可)



問い合わせ先

三鷹市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部事務局(三鷹市スポーツと文化部スポーツ推進課) ☎0422-45-1151(内線2931)

